



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

青森県支部が総会・コンサート 次回は古希(界隈)世代の集いを企画



嵯峨さん、高校の同級生・今野さんとエレキサウンド

1月27日、青森駅前「かくれんぼ」で、支部総会と支部コンサートを開催しました。総会では、演奏する構えとか、今年の「4・9反核燃の日全国集会」は4月6日・青森市で室内開催の予定なのでぜひ演奏で参加したいということが話されました。コンサートには、東京から狭石啓子(都支部長)さん、前日から音合わせのため、青森入りしていただきました。久しぶりに高沢陽子(野辺地町議会・副議長)さんが参加し、飛び入りで松本会長の伴奏で「私は忘れない」を歌いました。嵯峨バンスも今年は70歳(古希)となりますので、その界隈の世代の皆さんにも呼び掛けて、「集い」を企画することになりました。

(支部長・佐藤康弘)

2024 支部コンサート・プログラム

- 1) 甲屋文史
なんとなくシャンソン/おやすみをもう一度/あの日の僕に
- 2) 狭石啓子
- 3) 嵯峨高
心の友/命の別名/ナウ・アンド・ゼン
- 4) 松本敏之
- 5) 金沢紀宏
緑の防人/素顔
- 6) 佐藤康弘(写真は撮れませんでした)
たずねておいで/よみがえれふるさと/私たちは生きていく/続けてんぴんばかり/休耕田にたつ百姓



青森の松山千春・金沢さんが長瀬剛を歌う



- ・人生は晴れの日ばかりじゃないから
- ・むらさきつゆくさの歌
- ・フクシマをくり返すな
- ・このひろい野原いづばい
- ・人生の罪
- ・戦争はさせない



- ・リトルアニー
- ・ソング フォー ガザ
- ・これ以上海を
- ・10年前のこと
- ・戦争なんかをするために
- ・南の海



高沢陽子さん

4・9 反核燃の日。例年県支部メンバーはPAなど裏方を担ってきました。今年はぜひ演奏で。みなさん、一緒に参加してください。



17時、スタートとともに乾杯となる。アワビやトロのさしみなど豪華なオードブル。

しかし、参加者全員順番があるので、自身の演奏が終わるまで緊張し、吞んでいられない。

昨年大トリの甲屋さん。1番バッテリーだが司会進行のため、最後まで緊張したとのこと。



新潟でも演奏

1月12日、自治労新潟県本部の拡大単組代表者会議前に山本さんたちと演奏をしました。本来なら夕方の旗開きで演奏するのですが、衆院選を見据えた推薦予定候補者のあいさつのスケジュールを確保するため、午前の演奏になりました。

「限りなき躍進」、「インターナショナル」、「春一番」、「風車の唄」のほか、学園坂スタジオの「Song for GAZA 2023」を演奏しました。(竹内崇史)

出雲集会で「決意」



歌でアピールする参加者
ギター演奏する渡部さん

昨年の12月9日、出雲市役所お祭り広場にて「大軍拡反対、憲法と生活を守ろう12・9出雲集会」があり、「決意」「折り鶴」を歌いました。

集会は約80人が参加しました。

「決意」はむずかしいようで、自分一人で何回も歌っていますが、今回もひとりで歌いました。1回目はアルペジオで、2回目はコード(ストローク)リズムで歌ったところ手拍子が広がり盛り上がりました。初めてでした。

2曲目の「折り鶴」は合唱になりました。この歌は写真右側の皆さんがいつも歌っている歌です。今回はマイク・スピーカーが2個あり、良い音が響きました。

日音協の歌もやっぱり80年代の歌は生きています。最近の歌は軽すぎるので歌えません。闘いが無いので作れないと思いますが。

表面上はかつての総評時代のような運動が起こってはいませんが、地方では。でも、昨今のガソリン、食料等すべてのものの値上がりの波が押し寄せてきて、我々JP退職者組合員や地域の老人会(慶人会)の中でも生活の苦しさが話題になってきています。今までは特に地域の老人会の中で、生活のことが話題になることはありませんでした。

我々の歌の力で、世の中を変える運動をどう起こしていくのか、民衆と一緒に作っていかねばと思っています。(出雲：渡部健一)



1月9日にマリンパレスさぬきで開催された香川県平和労組会議・高松地区労合同の団結旗開きにおいて、開会前の17時40分からシングアウトを行いました。高田支部長が三味線、井下さんがボケたん(どこかの音楽祭で売っていたミニシンバル)、三好さんと細川はギターの伴奏で「私は忘れない」「どんなに時が流れても」「武器を捨てて(二重唱版)」「Song for Gaza 2023」を演奏しました。

「武器を捨てて」は「武器を捨てて、手をつなごう(繰り返し)」の主題1、「平和が一番だ(繰り返し)」の主題2を7回ずつ繰り返し、そこにハーモニーを上乗せしました。

「Song for Gaza 2023」は、旗開き参加者にも歌ってもらおうと企画し、コールを細川が、レスポンスを3人で歌いました。事前練習のお陰で発表はまとまりよく行いましたが、聴衆の様子をうかがうまでの余裕がなく、歌ってもらえたかどうかは不明です。

閉会前には参加者全員で「インターナショナル(A♭)」を合唱しました。(報告：細川剛)

香川で旗開き

私鉄全国音楽集団



榎原さん



日音協によせて
調布市議会議員
榎原 登志子

こんにちは。この度、日音協に入会させていただきました榎原登志子です。

いつも日音協の街頭での活動にふれ、「素晴らしい歌だな！」と思っておりました。

戦争、核、原発、労働に対する思いはどれも共感できますし、歌が気持ちを団結させます。現在、起きている紛争や戦争は終わらせなければなりませんし恒久平和を歌に込め、貧困のない世界をめざし思いをあらたにしました。また、私たちの労働の対価が資本家により搾取されている現状を根本から質していかなければなりません。さらに沖縄の基地問題の解決へ向けて平和の声を歌でつなげてまいります。

私鉄全国音楽集団での活動も続けていますが、日音協の皆さんと会員として声をあげてまいります。みなさん、よろしくお願いいたします。

FM カンパニー 2024 年新役員体制

会 長	佐藤 和弘 (FM カンパニー)
副 会 長	的場 芳男 (M企画代表)
副 会 長	榎原 隆子 (行動する会事務局長)
事 務 局 長	磯野 宏之 (スタジオ☆ヒロ)
事務局次長	桑野 功 (ISAO 人形工房)
事務局次長	吉田 雅人 (自治労道本部)
理 事	佐藤 満 (FM カンパニー)
理 事	沼前 光典 (FM カンパニー)
理 事	石川 加鶴子 (後志地区)
理 事	渡辺 裕美 (自治労足寄町職労)
特 別 顧 問	小林千代美 (北海道議会議員)
会 計 監 査	柳田 基貴 (自治労全道庁)
会 計 監 査	村雲 孝 (FM カンパニー)

FMカンパニー 総 会 & 新年会



沖縄で笠木メモリアルバンドを ニベースギターがない、忘れた。ニ

FM カンパニーの 2024 年度総会兼新年会は、大事な楽器を忘れるという不穏な始まりだった。

江別のペンション優に着いたばかりなのに、新年からのチョンボは事務局長として縁起がよくない。15時からの総会を遅らせ自宅に取りに行くことになった。大雪で渋滞する冬道を片道1時間やっと自宅に着くが、家中どこを探してもない。その時桑野から電話があった。「ごめん俺の家にあった」「嘘だろう」さらに桑野宅に寄り 2 時間半もかかってやっとペンションに戻った。もうくたくただ。

すでに新年会は始まって飲んでいる。やむなく総会は翌日にした。笠木さんの遺影に酒をお供えし、新年の「歌い初め」は延々と相変わらず騒がしく夜中まで続いた。

さて、翌朝は 9 時に黙とうを捧げた後「総会」は開催された。経過では初めて取り組んだ FM カンパニーと笠木さんの 2 枚の CD は祭典や全国の仲間そして組合、友人などの協力で販売目標を達成したことが報告された。(この紙面を借りて感謝申し上げます)

今年度の活動は、メーデーや反核集会での演奏、沖縄祭典の参加、独自コンサートの実現を目指すことを確認した。9月の祭典は、笠木さんの一周忌にあたることから「笠木メモリアルバンド」を結成し追悼の演奏をしたいという意見もだされ、実現に向けて取組むこととした。

余談だが、遺影のお酒も翌朝には半分無くなっていて、笠木さんも一緒になって新年会を楽しんでいたようだ。合掌。

(磯野宏之)



「南風（ふえーぬかし）」③ 沖縄戦で怖いのは友軍だった

沖縄県支部長・平良昌史

はいさい！年末の沖縄県支部総会で支部長に就任した平良です。今回は沖縄戦についてです。明治政府による琉球処分あと、天皇制国家への忠誠を誓わせる政策を進められた沖縄。日本の防衛線の最南端と位置付けられ、市民や学徒は飛行場や陣地づくりに動員されました。

1941 年 12 月 8 日、日本連合艦隊の真珠湾攻撃により太平洋戦争が開戦され、1944 年 3 月大本営直属の第 32 軍が創設されました。8 月 22 日には、一般疎開者と学童疎開者を乗せた対馬丸が鹿児島県の南西 260 キロで撃沈され、八重山では、住民が山間地に強制疎開させられ、マラリアにより多数の島民が亡くなりました。

これらの疎開は、日本軍が邪魔な県民を排除し食料を強奪するのが目的でした。10月10日米艦載機延べ1400機により、沖縄本島的那覇を中心に9時間にわたり5波の無差別銃爆撃で多数殺傷され、1945年3月26日米軍は慶良間諸島に上陸、4月1日には本島中頭に上陸しました。

首里に軍司令部を置いていた沖縄方面守備隊は「鉄の暴風」と呼ばれる猛攻撃を受け、本島最南端に追い詰められ、6月23日、最高軍司令官牛島中将が「最後マデ敢闘シ悠久ノ大義ニ生クベシ」という命令を残して自決しました。

日本領土内において唯一の地上戦は、1日でも長く米軍を沖縄にくぎ付けにし、本土防衛の態勢を固めるという「捨石作戦」であり、8月15日の敗戦以降も戦闘状態は続きました。

学徒動員による鉄血勤皇隊や従軍看護婦の悲劇、住民が米軍爆撃の犠牲になるだけではなく、日本軍は沖縄住民をスパイ視して拷問や虐殺、食料強奪、壕追い出し、乳幼児の殺害、住民の投降を許さず「集団死」等の共生共死が強制されました。

軍隊は住民を守らないことは、沖縄戦を体験した沖縄県民は肌で感じています。同じ過ちを起こさないよう、沖縄戦の悲劇を2度繰り返さないよう、非戦の誓いをこの沖縄から発信したいと思います。

【お詫び】先月号のこの欄で紹介した写真に平良さんは出演していませんでした。



9 月 21 日 22 日の沖縄音楽祭を成功させよう 沖縄県支部総会開催！新体制で出発！

沖縄県支部・平良昌史

日本音楽協議会沖縄県支部（略称：沖音協）の総会を2023年12月26日にフォークBar「アフター5」で行いました。今回は、沖音協メンバーに「はたらくものの音楽祭 in 沖縄」の会場視察も兼ねて日音協中央の坂口副会長も参加し開催しました。この一年間は、沖縄労協食料支援アトラクションへの参加、「てだこあすなる会」チャリティーコンサート、脱原発オキナワ平和コンサート、連合那覇南部地協春闘団結集会でのアトラクション、恒久平和への決意を新たに作る会への参加、5・15平和行進、日音協沖縄行動への参加、ポロはま音楽祭への出演などを行いました。はたらくものの音楽祭 in 長岡には、台風直撃で飛行機が欠航となり不参加となり残念でした。行動計画では、昨年同様の活動を行いつつ、今年9月21、22日の沖縄音楽祭準備を行うことを確認しました。また、役員体制については、新会長に平良昌史、事務局長に石川勲が新任されました。総会終了後は、笑顔コンサートの総括会議とミニコンサートを行い楽しく語らい、新しい船出をすることが出来ました。

市民とともに



上写真：てだこあすなる会チャリティーコンサートで演奏

下写真：「ポロはま音楽祭」は、薬局『えばーわーな〜』が主催しています。今回の司会の女性とメンバーの嘉数さんが知り合いで、お声がかかりました。主催者は薬局の一角を「自由空間」として開放しており、ギター教室なども行っています。

又市征治さんを偲ぶ

昨年 9 月 18 日に又市征治さんがお亡くなりになりました。享年 79 歳でした。又市さんは労働組合運動や参議院議員としての政治運動など功績は周知のことですが、1974 年 2 月の富山県におけるはたらくものの音楽運動センターである「富山県音楽協議会」(富音協=現日本音楽協議会富山県支部)創設にもご尽力いただきました。また、1996 年から 2002 年まで日音協富山県支部の会長として、その後も日音協会員として 2019 年度までご理解ご協力をいただきました。

当時いっしょに結成に向けて中心的に活動された小川亘さんと宮元勝彦さんからエピソードなど回想の言葉を寄せていただきましたので掲載し、又市征治氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

(とみおんきょう：2024 年 1 月号より)

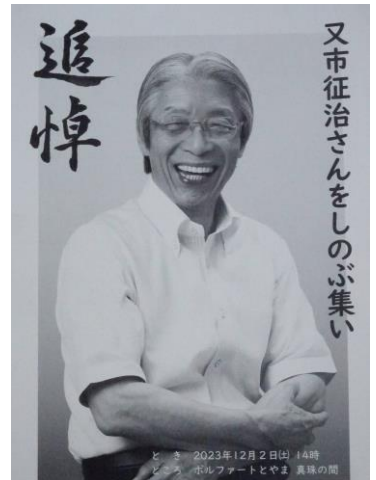
私が又市さんと知り合ったのは、1970 年初頭に千葉県で開催された「全国青年団結集会」でした。全国から集まった約 5,000 人を前に、又市さんが「富山県における吏雇用制度撤廃闘争」の報告をされました。当時 20 代半ばで県職労の青年部長・又市さんの大講演を聞いてびっくりしました。当時私は、全通東京地本の青年部役員でした。講演の後、又市さんの富山高校の後輩で東大出の広瀬君が私を又市さんに紹介してくれました。その時又市さんと 1944 年生まれ同年だと知りました。

2 回目にあったのは、「第 1 回富山県まなぶ読者大会」が牛岳で開催された時で、私は労働大学から要請を受けてアコーディオンで東京から参加しました。その時出し物として「ゴキブリ音頭」が行われ、最初に出てきたのは又市さんで、次から次とゴキブリが現れ「まなぶ」の拡がりを感じさせました。

私の都合で当時の職場を退職し、次の就職先のことと又市さんに相談し、富山県職労書記局に勤めることになりました。

最初に行ったのは「アコーディオン教室」で、又市さん等の協力で県労協青婦協と教宣局が呼び掛けて県庁で行いました。続いて電電公社の宮元さんを紹介していただき、宮元さんと私であちこちの歌唱指導、様々な活動でだんだん音楽運動として広がり、これが「富山県音楽協議会」(現日本音楽協議会富山県支部)の結成に繋がりました。自らアコーディオンを購入したことや、子どもの送りの時、「インターナショナル」や「がんばろう」などを歌い、いつの間にか子どもも歌えるようになったなど音楽好きでもあった又市さんでした。

(元日本音楽協議会富山県支部事務局長:小川 亘)



又市征治さんは私にとって、70 年安保闘争のシンボリックな存在でいらっしゃいました。

当時私は、69 年 10.21 国際反戦デーを起点として、翌年 6 月末まで連日繰り広げられたデモに、主催団体を一切気にしないで、富山城址公園広場→総曲輪→西町→荒町→城址公園(時には当時の富山警察署まで)経由のデモに参加してから帰宅するのが、日課でもありました。

しかし、その中でも、又市さんが指揮されるデモは、スリル満点で、デモを監視しながら追尾してくる機動隊車のスピーカーが「又市逮捕!」を発する時の緊張感が、今になってみると、青春であったような気がしています。でも出発までの又市さんのあの野太い声での「アジ演説」は、本当にデモ参加者を勇気づけてくださっていました。そして、反安保闘争が幕引きされた頃に、又市さんが願っておられた「富山における働く者の音楽文化の醸成」を目論んで、当時駅前の「福祉会館ビル」の地下にあった喫茶店で、東京から音楽家として帰富された小川亘さんを又市さんから紹介されたことが、私にとって「富音協」に関わることになった始まりでした。まもなく傘寿を迎える私が、形はどうあれ、模索し続けてきた自分にとっての「音楽運動」を、あの世でどう又市さんに報告することになるのでしょうかねー。

(元富山県音楽協議会事務局次長:宮元勝彦)

2024 日音協セミナー(2/10~12) 藤野芸術の家(神奈川県)で開催

講師は、日下昇さんと、小笠原もずくさんをお願いしています。

【うた&演奏】に11名がエントリー 【ステージスタッフ】は5名が申し込み

厳しくも楽しい充実した時間を！ 沖縄音楽祭の成功に向けて！

水道橋だより

▼能登半島地震。富山では屋敷さん宅の水道が断水。他は大事には至らないとのこと。石川のお友だちには連絡がつかない方もあるとか。被害にあわれた方々に心からお見舞いを申し上げます。(松本)
▼糸魚川の今村さんは、地震直後は道の駅に避難されていましたが、その後ご自宅に戻られています。ほかのみなさんも家の中の被害は多少なりともあるようですが、ご無事です。(竹内崇史)

■集会のご案内(詳細は日音協へ)
ロシアのウクライナ侵攻から2年
ウクライナに平和を！2.24 青山
集会&デモ

共催：さようなら原発 1000 万人
アクション/戦争させない・9条壊
すな！総がかり行動実行委員会/
戦争をさせない 1000 人委員会/
憲法9条を壊すな！実行委員会/
憲法共同センター

▼日時 2024年2月24日(土)
13:30~14:50 集会
14:50~ デモ

▼場所 都立青山公園南地区多
目的広場 東京メトロ千代田線
乃木坂駅5番出口から徒歩5分

▼内容 主催者あいさつ・アピ
ールなど

音楽：中川五郎さん、カテリー
ナ・グジーさん(ウクライナの歌)
※日音協は集会前の音楽を担当
(送り出しも)します。

▼デモ：青山公園→六本木通り
→三河台公園(解散)

歌の力が物語るもの126

茉莢坂うた行動 1/5(497回) 報告 R i c o

【参加者】スーさん、なべさん、周平さん、守屋さん、イサさん、カオルさん、鈴木、達哉、森 計9名

あけましておめでとう、と言っにはあまりにひどい年明け。元旦に起こった北陸の地震と津波。被害の大きさに胸が詰まる。そしてやはり心配になるのは原発。停止命令が解除されたばかりの柏崎刈羽は？震源地に近い志賀原発は？隣県福井は原発銀座だ。大飯、高浜は稼働中。もんじゅ・ふげんは？「異常は認められず」と早々に報道があったが、信用できるか？……と

2024年の茉莢坂うた行動は、怒りから始まった。『私たちは許さない』『メッセージ』『フクシマをくり返すな』『D o ! 廃炉』『怒りの選曲が止まらないね』『今日はみんな声も大きいよね』と、みんな同じことを思っていた。
『D o ! 廃炉』の原発名列挙の部分、ずっと「志賀」を「しが」と読んでいたが、「しかなんだ。震度が高かった地点、ニュースも多い。モ二タリングポストは壊れて測定不能、外部電源も一部損傷みたいに言っているけれど2系統のうち大きい方が壊れたらしい。使用済み燃料プールか

ら水が溢れたり冷却水の水位が3メートルも上昇したり、破損した変圧器から漏れた油の量も上方修正される。これで『被害はない』『安全に支障なし』と発表される恐ろしさ。逃げ場のない半島、避難経路の道路は地震で寸断されている。『あなたに届けと』を歌う。『あてなく逃れぬ 雪の夜道を……』結局は自分で逃げるしかないのかと、情けなくなる。今夜も鈴木さんのアンプが大活躍。マイクを持ってなべさんやスーさんが歌ったり、守屋さんに当てたり。『あたりのまへの地球』『自分の言葉で自分の声で』『水に流すな』。マイクを通すと歌に気迫がこもる。怒りの輪郭が明確になるようだ。原発だけじゃない。辺野古も埋め立て設計変更が政府の代執行により成されてしまった。『辺野古旅情』『ふ



るさと沖縄』。設計内容の精査は無く、問答無用の判決。知事は言葉を尽くしたのになにひとつ答ええないまま。
カオルさんが『大きな橋』に手話をつけてくれた。『平和の暦』は軽やかな手話ダンスだけれど、『大きな橋』は力強さを感じた。「この壁を崩した……」では、拳で打ち砕く仕草がありゾクゾクした。
来週は、辺野古の新設計の埋め立て工事開始に抗議する行動が、官邸前にて終日予定されている。茉莢坂をどうするか相談。その結果、辺野古の集会のあと、短くても茉莢坂でも歌うことに決めた！
今日の最後は元気よく『沖縄こそ立ち上がろう』。今年も茉莢坂は熱いぞ！

どん行

(175)

飯島貞親

辰年の過去の出来事を予想してもしょうがないが、政治の変化が何もない年にはしたくないものだ。

▼架空の動物である辰の年も1ヶ月が過ぎた。辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年といわれている▼戊辰戦争が1868年、日露戦争が1904年の辰年に起きている。また戦後では、皇居前でデモ隊と警察が衝突して1500名が死傷した血のメーデー事件(1952年)も辰年に起きている。政変の年とも言われ、戦後5回しかない辰年のうちで3回も総選挙が行われた。ロッキード事件やリクルート事件といった汚職事件も辰年に発覚している▼自民党の裏金問題は第2のロッキード事件と言われている。取り沙汰されている政治家の言動は見苦しさの連続だ。記者の質問に逆ギレする議員や逃げ回る議員たちを見ていると政治不信は深まるばかりだ▼しかし、こんなしょうもない政治家でも選んでいるのは有権者だ。「自民党がひどいのは野党がだらしないから」と訳知り顔で語る評論家や一部労組幹部がいるが、こんな発言が自民党を利用することに気がつかないのだろうか▼腐りきった自民党政治家を一掃するのは、政権を交代するしかないことははっきりしているのにマスメディアの声は弱いような気がする▼辰年の過去の出来事を予想してもしょうがないが、政治の変化が何もない年にはしたくないものだ。